

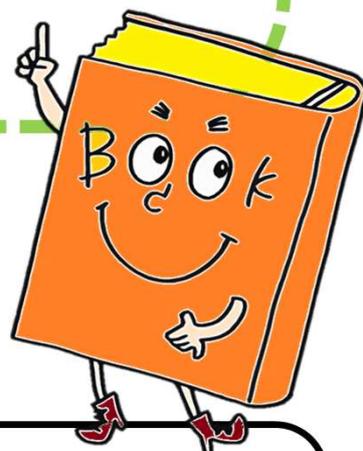
知多市図書館を使った調べる学習コンクール  
オリジナルサポートツールのダウンロードは図書館HPから！  
【<https://www.lib.city.chita.aichi.jp>】

# 調べる学習コンクール コンプリートBOOK

レッツ「調べる学習」！！

はじめる前に、必要なものをそろえよう。

- えんぴつ
- ふせん（大きめのもの）
- まとめ用の紙
- 色えんぴつやカラーペン
- クリアブック（あるとべんり！）
- コンクール応募用紙



おとうさん・おかあさんへのお願い

ステキな作品づくりには、大人の助けが必要です。  
子どもたちが自分でやることも大切ですが、  
出来ないこともあります。  
困っているときは少しだけ、助けてあげてください。

# はじめに

～調べる学習に必要な5つのステップ～

調べる学習をすすめていくには5つのステップがある。

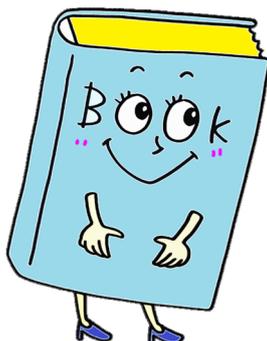
それをひとつずつクリアしていけば、

きっとステキな作品ができあがるよ！！

## 目次

- ステップ① テーマを決める – P 2
- ステップ② 調べる前にかんがえる – P 4
- ステップ③ 本などで調べる – P 7
- ステップ④ まとめる – P 14
- ステップ⑤ タイトル・目次・参考文献 – P 18

さいごに わすれものチェック – P 21



さあ、いよいよ  
「調べる学習」スタート！  
作品づくりをたのしんでね♪

# ステップ① テーマを決める

調べる学習をスタートさせるためにまずは"テーマ"を見つけよう。

"テーマ"というのは、"調べたいこと"。タイトルではないよ。

さて、キミはなにを知りたいかな？



自分のテーマを見つけるために、



まずは「じぶんアンケート」をやってみよう！

好きなものはなに？

キライなものはなに？

フシギだなと思うことはある？

今、気になっていることは？

こたえはいくつ書いてもOK！

テーマになるのは、どれだろう??

「じぶんアンケート」は書けたかな？次はアンケートの中からテーマになりそうなものを見つけていくよ。



テーマとは"調べたいもの"

となりのページに書いたもので、

調べたい、知りたいと思うのはどれだろう？

一番、調べたい・知りたいと思うこと

これがキミのテーマだよ！

次はどうして、調べたい・知りたいと思ったのか考えてみよう。



調べたい・・・そのワケは？

## ステップ② 調べる前にかんがえる

テーマが決まったら、さっそく調べよう！とその前に・・・  
まずはじっくり考えてみることにしよう。



テーマについて、キミが知っていることはないかな？



まずは今、知っていることを書いてみよう。

テーマについて、今、知っていること

テーマについて、キミはどれくらい知っていたかな？

知っていることはもう調べなくてもいいよね。

じゃあ、調べなきゃいけないことってなんだろう・・・？



次はテーマについてキミが「知らないこと」や  
「分からないこと」を見つけよう。

テーマについて「知らない・分からない」ことを  
ふせんに書いて、はっていこう！



調べなきゃいけないことが  
わかってきたぞ。  
さてと、次は「よそう」だな・・・。

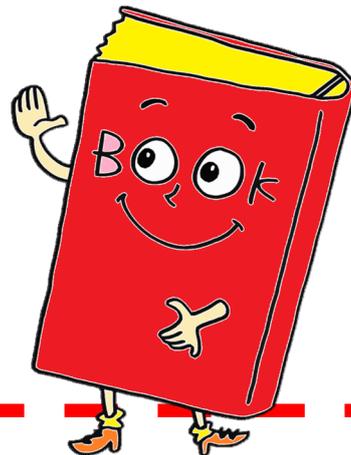
## ポイント① “よそう”するって？

調べる学習のたいせつなポイントの1つ、それが「よそう」。  
むずかしい言葉のようだけれど、「本などで調べる前に、  
自分でこたえをかんがえてみよう」ということなんだ。



キミが知らないこと・分からないことについて  
自分なりにかんがえてみよう。キミはどう思う？

キミのかんがえたことをふせんに書いて、はっていこう！



## ステップ③ 本などで調べる

いよいよ本で調べるよ！まずは図書館で本をさがすために  
2つのことを知っておこう！

### ① 図書館の本は「分類」をもとにならんでいる

この冊子の一番さいごに「じどう室MAP」がついているよ  
そのMAPの左にあるのが「分類表」なんだ。

図書館の本はこの分類でわけられて、ならんでいるんだ。

キミのさがしている本は、どの分類になるのかな？

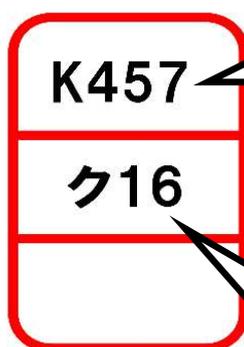
どの分類になるかわからないときは  
「けんさく」してみよう。  
見方を変えてみるのもいいかもね！



### ② ラベルの見方を知る

図書館の本にはひとつひとつ「ラベル」がついているよ。

このラベルを見れば、その本の分類が分かるんだ。



↑ラベル

これは分類記号（ぶんるいきごう）  
分類をあらわした3ケタの数字だよ

書いた人の頭文字と図書館にはいった年  
出版年ではないから注意してね！

## ここでポイント②

# 本は3冊いじょう見つけよう！

じつは、本でもまちがえることがあるんだ。

何年かのあいだに、あたらしい発見があったり、

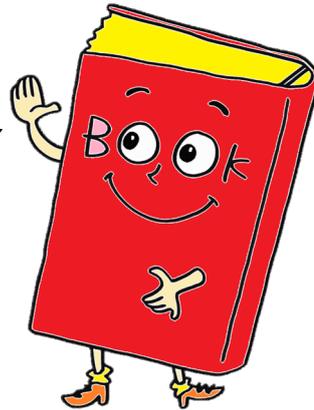
別のかんがえをもつ人がいたりするんだよ。

いろいろな本を見て、正しい"じょうほう"をあつめよう！



本が見つかったら、「もくじ」や「さくいん」を見よう。キミの知りたいことはどのページにのっているのかな??

調べたことは"ふせん"にメモしよう。  
ふせんを書くときのルールは  
下に書いておいたよ！



### ふせんの書きかた

- ・メモは3行にまとめる。
- ・必要なところだけ書く。
- ・本のバーコード番号とページを書いておく。

ぶんるいきごう  
本の住所  
3ケタのすうじ

0001234567 6ページ



## バーコード番号を書くワケ

調べる学習には「参考文献（さんこうぶんけん）」とって  
つけた本のじょうほうを書くページがあるんだ。

そのとき、もし本を図書館に返してしまっていたら…？

どの本のどのページか、もう一回見つけるのは大変だよ。



**だから書いておく！**

図書館の本には、かならず  
バーコードがついているんだ。  
これは本によってちがうから  
この番号が分かっていたら  
同じ本をさがすのはカンタンだよ。



バーコードがわかっていたら  
おうちから図書館のホームページで  
本のじょうほうを調べられるよ。  
また、調べたときに本のじょうほうを  
書いておきたい人は奥付（おくづけ）を  
見てみよう。本のさいごにあるページだよ。



さあ、調べるぞ！！



調べたことを、ふせんに書いて、どんどんはっしていこう！

# こんなときどうする？～調べる～

## ケース①本がみつからない・1冊しかない

1冊の本では、じゅうぶんに調べる事はできないね。  
大変だけれど、もう1回テーマをえらびなおそう。

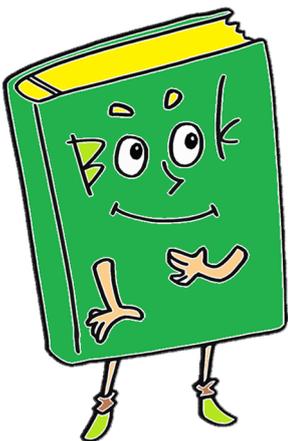
## ケース②調べる事がなくなってしまった

5ページの「知らないこと」・「分からないこと」を  
調べきってしまったんだね。

そんなときは、2つの方法をためしてみよう。

その1：10・11ページにある「調べたこと」の中で  
自分には分からないことがないか調べてみよう。

その2：「いつ？」・「どこで？」・「どうして？」  
「もしも？」といったギモンフレーズを使って  
あらたにギモンをつくってみよう。



ギモンは調べたことの中にもあるよ。  
たとえば、**どうして信号のとまれは赤なのか**調べると、「赤は目をひく色だから」って書いてあったんだ。  
じゃあ**どうして赤は目をひくのかな？**  
・・・こんなふうに、ギモンは  
つなげていくことができるんだ。

## ポイント③ “本じゃない”調べ方

“図書館を使った調べる学習コンクール”だけど、

本以外の方法で調べてもOKなんだ。

かんけいのある場所へ行ったり、実験をしてみたり、

インタビューやアンケート、インターネットも使えるね！



キミの調べたいことは、本以外のどんな方法で  
調べることができるかな？



実際にかんがえて、やってみよう！

本で調べるほかに、できることはあるかな？

## ステップ④ まとめる

さあ、いよいよまとめていくよ！

・・・といわれても、そうカンタンにできない「まとめ」。  
でも大丈夫。順番にやっていけば、きっとできるよ。



まずは、まとめをするためにおぼえておきたい  
大事なことをおさえておこう。

### ①友だちにもわかる作品にする。

友だちは、キミが調べてきたことを  
キミの作品で知るんだ。

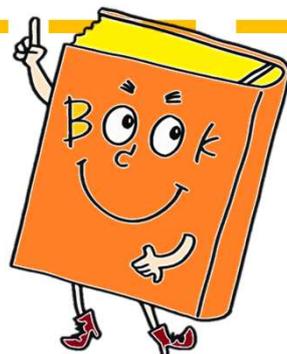
わかりやすく、まとめてあげないとね。

### ②自分だけの作品にする。

他の人の作品をマネしたり、本の文章を  
そのまま使ったりするのはよくないね。

せっかくのキミの作品、だいじに作ろう。

さあ、次のページから  
まとめ開始だ！！



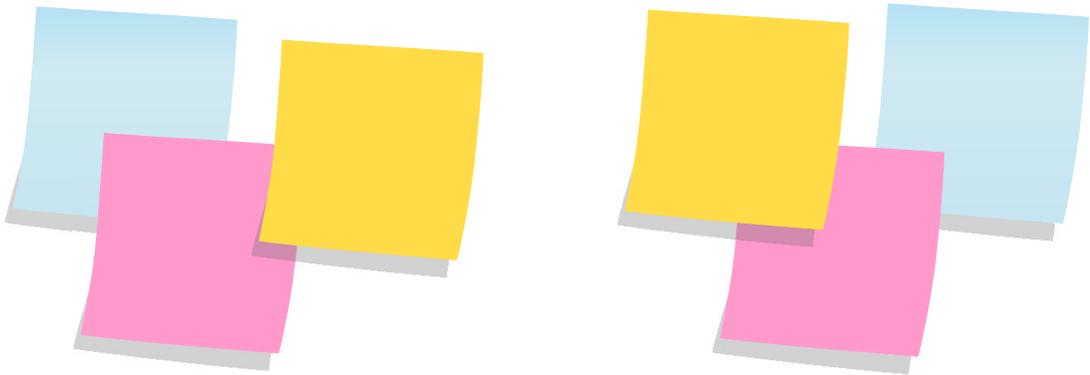
まとめをするには、順番どおりにやることが大切だよ。  
全部で4つのステップがあるんだ。

## ステップ①調べたこと別にわけろ。

ふせんやメモを、テーマやことがらごとに分けよう。

### 例

○○についてのグループ    △△についてのグループ



## ステップ②まとめる順番をかんがえる。

まとめには順番が大切だよ。調べるまでの流れや  
ギモンが生まれた順番、結果へつなげるための部分など  
どんな順番で書いたら他の人に伝わりやすくなるかな？

例    さいしょ    → **どうして信号のとまれば赤いのか？**

2ばんめ    →調べたいワケ・よそう

3ばんめ    →調べたこと①赤は目をひく色だから

4ばんめ    → **どうして赤は目をひくのか**

5ばんめ    →調べたこと②赤は「キケン」の色だから

けっか    →「キケン」をあらわす色を使うことで

”とまれ”に気づきやすくしている

## ステップ③まとめる

知りたいこと・よそう・調べたことをもとにして、ノートや紙にまとめていくよ。ひとあじちがうまとめにするにはいくつか“ワザ”があるんだ！！

### ワザ①見出し・ミニタイトルをつける！

いちばん伝えたいことや、今から書こうとしていること、キャッチフレーズをかんがえるのもいいね！

### ワザ②モノクロもいいけどカラフルも！

モノクロのほうが読みやすいこともあるけど、色があるほうがキレイで、目をひくことができるよ！

### ワザ③しゃしん・絵でわかりやすく！

ことばで書くよりも、絵やしゃしんのほうがわかりやすい！ということもあるんだ。

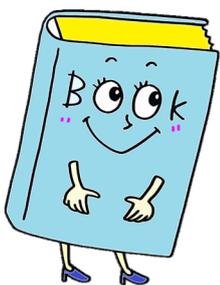
本やインターネットのものを使うにはルールがあるよ。

それは「参考文献（P 19）」のページで！！

### ワザ④自分のことばで書く！

むずかしいことばを、そのまま使わなくていいよ。

本の文をうつすのではなく、自分のことばでまとめよう！



むずかしいことばを使いたいときは  
解説（かいせつ）をつけてあげよう。  
お友だちにもわかりやすいよ。

## ステップ④結果（けっか）と感想（かんそう）

まとめのさいごにひつようなのが「結果」と「感想」だ。  
コレがないとキミの調べる学習は、  
“ただ調べただけ”になってしまうんだよ！

結果というのは

**自分が知りたいと思ったことはわかったか？**

**自分がかんがえていたこととくらべてどうだったか？**

…ということ。

そして感想というのは

**調べてみて、感じたことはあったか？**

**この結果を見て、どう思ったか？**

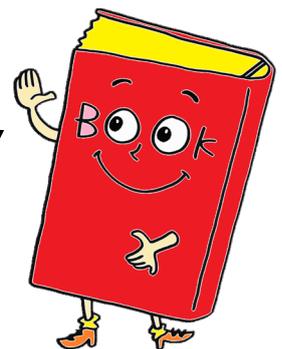
…ということなんだ。



調べたあとに、もういちどかんがえる！

それができたらキミの“まとめ”はおわりだよ！

いろいろなことを調べたあと、  
さいごにもういちどかんがえる。  
調べるだけが調べる学習じゃないんだね！  
調べた結果、キミはどう思ったのか…  
それが一番だいじなんだ！



## ステップ⑤ タイトル・目次・参考文献

作品づくりのさいごのステップだ。これができたら完成！

### ★タイトル ～読んでみたいと思わせる～

タイトルは作品の“かお”であり“なまえ”だ。

キミの作品だと分かってもらえるのは、もちろん

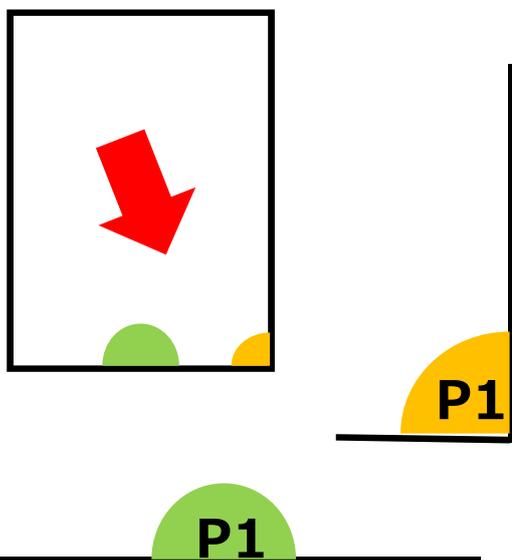
**なんだろう？読んでみたい！と思えるものにしよう！**

### ★目次 ～読む人にやさしく～

どんなことを知りたくて、どんな順番で調べたか、それが分かるのが「目次（もくじ）」だよ。

もう一度読みたいという時にも、どのページに何が書いてあるのか分かるからべんりなんだ！

### ページのつけかた



### 例

はじめに・・・1ページ

きっかけ・・・3ページ

よそう　・・・4ページ

信号のアカのなぞ

・・・6ページ

書くことが変わるごとに、

はじまるページをつけよう。

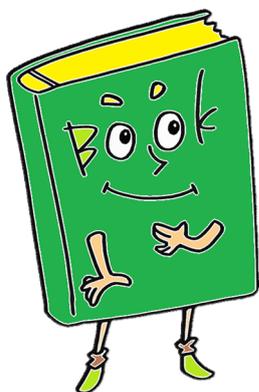
## ★参考文献 ～本を書いた人のために～

いよいよここまでやってきたね。ここは調べる学習で一番たいせつな参考文献（さんこうぶんけん）のページだ。参考文献というのは

**「わたしの作品は、この人の本を見てつくりました」**

**ということを“しょうめい”するためのもの。**

本を書いた人の“けんり”を守るための、たいせつなポイントだ。これがないと「はんざい」になっちゃうこともあるんだよ！



自分で作ったものをかっけてに  
使われたらイヤだもんな……。  
きちんと書いておかなきゃ！！

もうひとつ知っておこう！

### 引用文献（いんようぶんけん）

引用（いんよう）というのは、そのまま使うこと。本に書いてあることばや絵、しゃしんをそのまま使いたいときは、この引用を使うんだ。使い方は…

**がぞう**

（〇〇P3より）

**使ったときに書いておく！だけ！**

がぞうやことばを使ったら、この本からとりましたって書いておこうね！



参考文献を書いてみよう。

ひつような“じょうほう”はバーコード番号で調べるか、奥付を見れば書いてあるよ。

しよめい 書名	ちよしゃめい 著者名	しゅっぱんしゃめい 出版社名	しゅっぱんねん 出版年	ページ	としょかんめい 図書館名と ぶんるいきごう 分類記号

- 書名（しよめい）・・・本のタイトル
- 著者名（ちよしゃめい）・・・本を書いた人のなまえ
- 出版者名（しゅっぱんしゃめい）・・・本をつくった会社
- 出版年（しゅっぱんねん）・・・本がつくられた年
- ページ数・・・調べるために使ったページ
- 図書館名と分類記号（ぶんるいきごう）  
・・・本をかりた図書館のなまえとラベルについている番号

### ★バーコードって？

ふせんにメモをするとき、本についている図書館のバーコード番号を書いておいたよね。

その番号を図書館のホームページの「全項目」でけんさくすると、本の“じょうほう”がわかるんだよ。

### ★奥付（おくづけ）って？

本のさいごのほうにあるページで、本のタイトルや書いた人のなまえなどがのっているところだよ。

そこを見れば本の“じょうほう”がわかるんだ。

# さいごに



さあ、さいごのしあげをして、  
わすれものチェックだ！



表紙にキミのなまえと  
学校のなまえ、学年とクラスを書こう



目次・参考文献をちゃんと書いたか  
チェックしてみよう



調べる学習コンクールの  
“応募用紙”をつけよう。

※つけ方は図書館で聞いてね！



図書館ではサポートスタッフが  
みんなの調べる学習を  
おてつだいするよ！

わからないこと、こまったこと  
たすけてほしい時には  
いつでも声をかけてね！！

# びぼう室をマスターせよ！ びぼう室MAP

分類のフロア  
バイオビさん



わたしは ☆ のところにいるぞ

本の分類

- 0 01 ずかん・読書
- 1 11 宗教・うらなひ
- 2 21 れきし・地理
- 3 31 社会・むかし話
- 4 41 しぜん・科学
- 5 51 技術・かていか・乗り物
- 6 61 産業・カーテニング
- 7 71 芸術・音楽・スポーツ
- 8 81 ことば・作文・外国語
- 9 91 文学・古典
- E えほん
- C かみしほひ

さんこう&きょうと  
しりょうのコーナー  
知多市のしりょうや  
ずかん・百科事典が  
あるところだよ

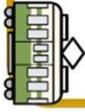
知ってる？パート①～3 1のヒミツ～  
3 1は5つのばしょにわかれてるんだよ！  
①…ことわざと妖怪 ③…社会や学校  
②…むかしばなし ④…福祉や文化  
探すときは気をつけて！



2 1には「こっき」や  
「戦争」の本もあるよ



知ってる？パート②  
～5 1のヒミツ～  
5 1は本をおくばしよが  
ちがうちがあるよ！  
「あ」…かんきよう  
「い」…乗り物



6 1は「おこめ」や  
「ペット」など身近な本も  
たくさんあるよ！

ここは「調べる学習コーナー」  
調べるための本や調べ方の本、  
コンクールの情報もあるよ！！

8 1は「読書かんそう文」の  
つよい味方！

0 1は「しらべる」の  
キホンになる分類だよ！

1 1には「かみさま」や  
「こころ」についての  
本もあるよ

7 1は夏こそ大人気！  
「工作」や「アクトピア」  
「しゆみ」の本がいっぱい！  
みんなが好きな「クイズ」も  
7 1に入ってるんだよ



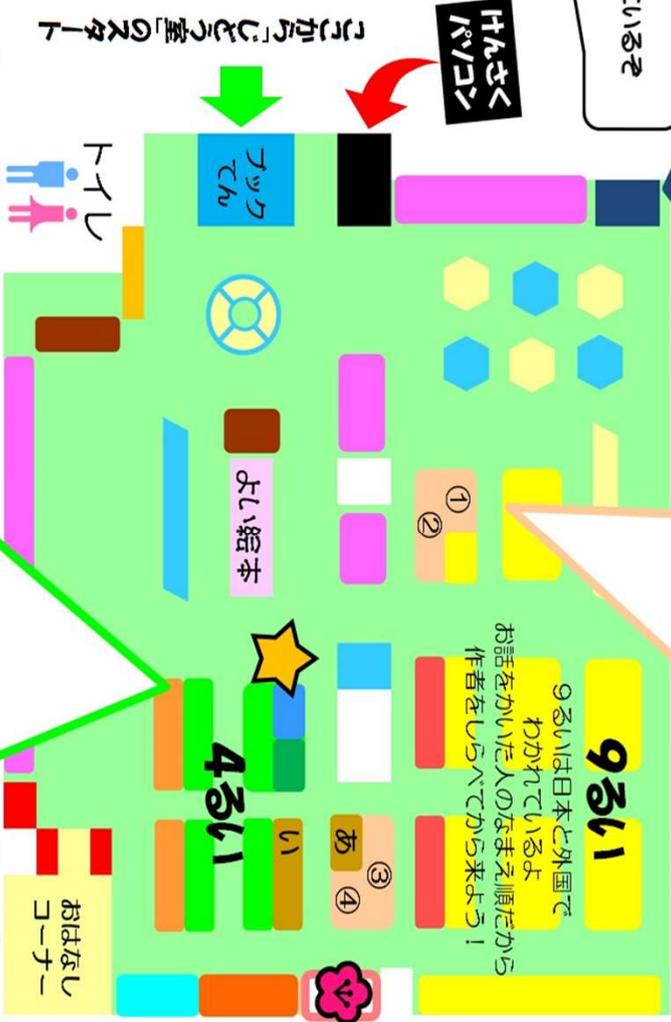
4 1の本だなを上から見るとこんなかんじ。好きな本はどこかな？

理科 — 算数 — 宇宙

地球 — 恐竜 — 植物

昆虫 — どうぶつ

人 — ほにゆう類 — 鳥 — 魚



探している本はどの分類かな？